闘いなくして安全なし

2024.05.13
No．４４５

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://dourousien28.kane-tsugu.com/renrakuban/
info@doro-shien.site

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！　定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

JR東・みどりの窓口「7割削減」方針を凍結

すでに窓口は半減―大混雑で多数の苦情

ＪＲ東は５月８日の社長会見で、「みどりの窓口７割削減」方針を凍結し、当面は現状を維持すると発表しました。

鉄道・駅業務ないがしろ

会社は21年５月、当時４４０駅にあったみどりの窓口を25年までに１４０駅まで減らす方針を発表しました。

「自動券売機やチケットレスサービスなど、窓口以外の販売が拡大している」「駅は切符を売る場所ではない。ビジネスをどう作るかだ（深澤社長・当時）」などと語っていました。同時に、**「地方駅は無人化」**と打ち出されました。

職名廃止・融合化、ジョブローテと同じように鉄道業務と現場を徹底的にないがしろにする攻撃です。

「窓口７割削減」という凄まじい要員削減を、現場をおとしめる形で推し進めてきたのです。この事自体が許せません。

「チケットレス化」といっても、窓口と要員の削減・無人駅化は障害を持つ方や高齢の方が列車に乗ることを今まで以上に困難にします。乗客と地方路線を切り捨てるものでもあります。

会社の強引な攻撃の破たん

みどりの窓口は、今年４月時点ですでに21年当時の半分以下の２０９駅にまで減らされています。今年３～４月には定期券購入や訪日客等で大混雑となり多数の苦情が寄せられていました。

結局、喜勢社長自ら会見で謝罪し、削減方針の凍結を発表せざるを得なくなりました。要員・コスト削減と利益を優先して、鉄道業務・駅業務を軽んじる攻撃の破たんです。

今年のダイ改で「京葉線快速廃止」についても、あまりの傲慢さに激しい怒りの声があがり、前代未聞のダイ改見直しに追い込まれました。

会社は職場でも、鉄道業務とそこで働く仲間をないがしろにして、融合化等の攻撃を次々にしかけています。しかし、その攻撃は決して「万全」ではなく、矛盾に満ちています。地域の怒りとともに、職場から声をあげよう。